

## 北上市地域おこし協力隊二組に委嘱状を交付

北上市地域おこし協力隊に就任した市川明伯さん(47歳)への委嘱状交付式は4月21日、本庁舎で行われました。

「北上市観光まちづくりプロジェクト隊員」として活動する市川さんは、都内でイベント制作会社を経営し、これまで多くのイベントの運営に携わってきました。協働事業としてプロジェクトを行う市と北上観光コンベンション協会は、イベントの開催を通して地域の活性化が期待できる点で市川さんの実績を評価し、採用に至りました。



委嘱状を手にする市川さん(中央)

高橋敏彦市長から委嘱状を受け取った市川さんは「市民参加型のイベントを立ち上げたい。1回で終わらず、数年かけて発展していくイベントにしたい」と意気込みを語りました。

また、同協力隊に就任した中村吉秋さん(42歳)・邦子さん(41歳)への委嘱状交付式は9日、本庁舎で行われました。中村さん夫妻は「夏油高原エリア活性化プロジェクト隊員」として活動します。同プロジェクトでは、和賀町岩崎にある築およそ50年の古民家を夏油地域の魅力発信に活用。協働事業としてプロジェクトを行う市と(株)北日本リゾートは、協力隊に対する夫妻の熱意や活動プランを評価し、同隊員として採用しました。

中村さん夫妻は今後の活動として、古民家を約2年かけて観光案内所を兼ねたカフェに改装し、30年度のオープンを目指します。

交付式では「地域の皆さんの意見を取り入れ、交流の場にした」と決意を語りました。



委嘱状を手にする吉秋さん(左から2人目)と邦子さん(同3人目)

### 市内の避難者状況 (4月30日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	2(0)	11(0)	24(-1)	17(0)	9(0)
人数	4(0)	22(0)	41(-1)	31(0)	17(0)
区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	9(0)	9(-1)	9(0)	90(-2)	
人数	11(0)	15(-2)	19(0)	160(-3)	

※( )は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

## 北上市新事業創出支援事業補助金

市の産業振興に資するため、産業分野を問わず、新製品または新サービスの開発や提供、6次産業化、起業・創業などを行う新事業に補助金を交付します。公募要項、申請書は市のホームページからダウンロードできます。

### 【対象事業】

新製品または新サービスの開発、新販路の開拓、新販売方法の導入など、市長が新事業と認めるもの

### 【対象経費】

委託費、外注加工費、指導に係る謝金および旅費、性能検査費、原材料費、副資材費、知的財産権などの関連経費、展示会出展経費、加工販売施設の整備費、加工販売機器の設備費

補助対象者	補助率	補助限度額	申し込み
・市内の中小企業者 ・年度内に起業を予定している個人	2分の1	100万円 (千円未満の端数は切り捨て)	6月20日(月)午後5時までに申請書を基盤技術支援センターへ
市内の中小企業者および事業年度内に起業を予定している個人を主たる構成員とするグループ	3分の2		6月20日(月)午後5時までに申請書を農林企画課へ
市内に住所を有する農業者など			

問い合わせ 北上市基盤技術支援センター ☎ 71-2181

## 熊本地震の被災地に支援物資を発送

九州地方で発生した地震に伴い、市は4月21日に熊本県御船町、同22日に同県宇城市へ支援物資を発送しました。

市は支援物資を募っていた同市町に連絡し、送付を希望する物資を確認。市の職員などが防災倉庫からトラックに物資を積み込み、出発しまし

た。

発送した物資は御船町にマジックライスを成人用紙おむつなど約9000点、宇城市に歯ブラシやマスクなど57000点。支援物資は、それぞれ発送から2日後に現地に到着しました。



トラックに支援物資を積み込む市の職員

## 「コワーキングスペース 北上(CSK)」開設！

市は、ビジネスがしやすい環境づくりのため、5月20日に北上市基盤技術支援センターホール内に「コワーキングスペース」を開設しました(28年度は試行期間)。コワーキングスペースとは、スペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスペースです。気軽にご利用ください。

- 利用時間…月曜～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00
- ところ…北上市基盤技術支援センターホール
- 対象…仕事での利用を目的とした18歳以上の人
- 利用環境
  - 【無料】Wi-Fi、電源、新聞(日本経済新聞、岩手日報、岩手日日)
  - 【有料】カラープリンター、コピー機

### こんな人におすすめ！

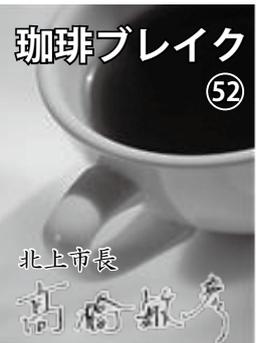
- 仲間と新規プロジェクトを立ち上げたい
- Web上の提案資料を修正したい
- 資料をプリントアウトしたい
- Skypeで打ち合わせをしたいーなど



同センターは「補助金や支援機関を紹介してほしい」「CADや金型について教えてほしい」などの相談を受け付けています。気軽にご相談ください。

問い合わせ 北上市基盤技術支援センター ☎ 71-2181

### 仙人姥杉に会う



「みちのくの 栄華に続く秀衡街道に 先人たちが守り継ぎ 今に生きぬく九百年の仙人峠の姥杉仰ぐ」。きたかみ巨木の会が愛唱する、北上巨木賛歌の一節である。長らくお誘いをいただいていた姥杉行だが、今まで日程が合わず断念していた。平泉の世界文化遺産登録5周年の今年こそはと、早くから日程を調整し、ようやく先般実現できた。

北上観光コンベンション協会のきたかみ魅力辞典は、仙人姥杉を次のように紹介している。「和賀町山口の瀬畑から和賀川右岸沿いに岩沢・切留を通り久那斗神社奥宮のある仙人峠を越え、西和賀地方、秋田平鹿地方に達する古道がある。く中略く産出した金を平泉に運んだ道として伝承され『秀衡街道』とも呼ばれて

いた。この仙人峠を越える目印となっていたのが、ひときわ目立つ姥杉だった。樹齢約900年、樹高約30m、根本周り11・5mもあり、大人7、8人でやっと手が回るほどで、県内有数の巨木である」

久那斗神社の鳥居をくぐり、巨木の塔を拝礼した後、仙人名水、花の秀衡街道、水無沢、トチ林、白根葵群落、不動明王、地滑り沢をたどってゆつくり1時間半余りをかけて姥杉に到着する。自称巨木愛好家の前釜石市議会議長さんは、この姥杉に会いたいがために早朝5時過ぎに家を出られたとの事。この日は、釜石市や盛岡市、一関市を含めて過去最大の47人の参加者があり、巨木の魅力を改めて感じる機会となった。

二週間ほど前、この周辺で3人の登山者が熊に襲われる事故があったため、参加者はそれぞれ鈴や警笛を鳴らしながら、少々緊張感のあるトレッキングとなったが、森林独特の澄んだ空気に癒され、心が洗われるような山行であった。巨木の会ほか、日々環境整備を続ける地区住民の皆さまにも深く感謝申し上げます。